

私の居場所

海南市立下津第一中学校 2年 中西 朝香

私は今、中学2年生です。学校生活にもやっと慣れてきましたが、昨年とはまどうことも多かったです。中学校は小学校と違い、教科ごとに教えてくれる先生が変わります。また、放課後には部活動、中間や期末といった定期テスト、自転車通学など、初めての経験ばかりで、毎日大変でした。関わる先生方が増えたり、部活動では先輩後輩の関係もできました。そんな中学校生活を過ごすなかで最近気づいたことがあります。それは、私は色々な人と関わり生きていること、私には人と関われる場所、私の居場所があるということです。

私には大きく分けて、3つの居場所があります。学校・テニス教室・家です。

学校は、私にとって一番大切な居場所です。クラスは18人で、メンバーも小学校から変わっていません。みんな仲が良く、とても明るいクラスです。私はそんな仲間が大好きです。家で家族とけんかをして、学校で友達と話していると嫌なことも忘れてしまいます。みんな小さいときからの仲間なので、私のことをよく分かってれています。元気がないとき、機嫌が悪いとき、いつも笑わせてくれる大切な仲間です。私の生活は、この学校が中心なので、とても大切な居場所です。

次にテニス教室という居場所です。テニスは小学校2年生から始めて今も続けている習い事です。監督は厳しくてよくしかられ、小学生のときは、テニス教室に通うのが嫌な日もありました。でもずっと続けてきたので、今は大会でいい結果が残せるようになりました。監督はあいさつや態度にも厳しかったので、小さ

い声で話したり、ダラダラ行動したりして何度もしかられました。今はそのおかげで、自然にあいさつができ、考えて行動できるようになりました。テニスの技術だけではなく、人との接し方など、小学生のときは十分に理解できていなかった監督の教えも、今はずいぶん理解できるようになりました。そして何より厳しい中に強い愛情があることもわかるようになりました。私が変わってきたことで、監督との関係も変わってきたように思います。

最後に家は、私が一番リラックスできる居場所です。兄が一人暮らしなので、父、母と3人で生活しています。子どもは私だけなので、親はよく私に口出しをしてくれます。その話し相手をするのが嫌で、つい「うるさい。」「だまって。」「知らん。」などの言葉で会話を切ってしまいます。面倒くさい態度をとって、よく親にしかられます。そんな私なのに、親は私の様子だけで、疲れている、悩み事がある、悲しいことがあったなどを見抜いてきます。本当にすごいなと思います。そして、何も言わなくても私を癒してくれます。私は、親には感謝しているけれど、今はまだなかなか素直にそれを伝えられていません。

私はこの3つの居場所で生きています。この居場所に助けられ、教えられ、癒されています。それぞれ大切なのですが、最近思い始めたことがあります。それは、一つの居場所であまくいかなくても、違う居場所があれば大丈夫だということです。

家で親とけんかをして、嫌な気持ちのまま学校に行っても、友達と話したり笑ったりしていると、嫌な気持ちが消えてしまいます。また、テニス教室に行っても体を動かしていると、頭も体もスッキリします。友達関係で悩んでいても、親に話すだけで心が落ち着いてくることがあります。違う居場所で過ごすことで、心が軽くなります。

私は色々な居場所を行ったり来たりしながら、色々な人と関わって生きていくことで、もしかしたら生きやすくなっているのかもしれない。笑う場所、緊張する場所、勉強する場所、逃げる場所、色々な場所を持っていると、きっとどこかにそのとき過ごすのにふさわしい場所が見つかるはず。そうすれば心が楽になり、また頑張れるのだと思います。自分の居場所をつくることは、生きていくなかで、とても大切だと思います。だから、私も誰かの居場所になってあげたいです。私の隣に誰か来たときは、その人が温かい気持ちになれる居場所になりたいです。